

日経産業新聞で iPad Receptionist が掲載されました: 企業向け受付システム、iPad で来訪者対応、アナログトゥエルヴが開発

2012/02/22

ソフト開発会社のアナログトゥエルヴ（東京・千代田、赤松隆社長）は、米アップルの多機能携帯端末「iPad（アイパッド）」を活用した企業向け受付システムを開発した。

iPadに専用ソフトを組み込んで、内線電話方式で来訪者に対応する。独自の動画像を組み合わせることも可能で、企業のイメージづくりにも役立てられる。英語版も投入し、来年3月末までに国内外で1000社への導入を目指す。

システム名は「アイパッド レセプショニスト」。あらかじめアイパッドの機能の一つとして搭載されている電話帳に、社内の部署や社員の内線番号などを登録。アイパッドを内線子機の一つとして社内ネットワークに組み込む設定をして活用する。企業が業務用に保有しているアイパッドをそのまま活用できる。

基本機能では、独自開発のプログラムを使って、画面上で受付をする人物の細かな表情や動きを表現するようにした。待機中の画面では、受付が眼鏡を外したり体操をしたりなど、複数のパターンの動きをする。

また、利用企業のニーズに合わせて、受付人物の動画を変更追加したり、企業のロゴを入れたりすることもできる。マスコットキャラクターなど柔軟にコンテンツを変更できる。1回当たりの費用はロゴ変更が15万円から、受付の追加は100万円から。

日本語版と同時に英語版での提供も始める。英語版ソフトの販売も、米アップルの配信サイト「アップストア」を使う。米国、英国、シンガポールのほか、アジア各国での利用も見込む。来年3月までに国内と海外それぞれで500社からの利用を目指す。

中小企業などでは経営効率化のために受付を無人にして、内線電話で来訪者に案内する例が多い。人物と対応しているかのような疑似体験で、来訪者に親しみを感じてもらい、企業の好感度アップも狙っている。

関連 URL

[iPad 受付ソリューション「iPad Receptionist」](#)